

戦略分野3(気象・気候)での 検討状況

(独)海洋研究開発機構

地球環境変動領域

河宮未知生

コミュニティとの意見交換(1)

- 2013年度日本海洋学会春季大会
 - 3月21日(木)～3月25日(月) (25日にシンポ開催)
 - 東京海洋大学品川キャンパス
 - ポスト「京」に向けた計算科学としての海洋学の展望
 - コンビナー: 河宮未知生(海洋研究開発機構), 羽角博康(東大大気海洋研), 市川香(九大応力研), 石川洋一(海洋研究開発機構), 黒木聖夫(海洋研究開発機構)
- 2013年度日本気象学会春季大会
 - 2013年5月15日(水)～18日(土)
 - 国立オリンピック記念青少年総合センター
 - ポスト「京」に向けた気象・気候シミュレーションの展望
 - コンビナー: 河宮未知生(海洋研究開発機構), 木本昌秀(東大大気海洋研究所), 佐藤正樹(東大大気海洋研), 齊藤和雄(気象研究所), 三浦裕亮(東大理学系研究科)

コミュニティとの意見交換(2)

- 数値流体力学シンポジウム(12月19日、国立オリンピック記念青少年総合センター)
 - 特別企画2「エクサスケールコンピューティングに向けて」において河宮が報告
 - 「ポスト“京”に向けた気象・気候シミュレーションの展望」
 - 現業に携わる機関との連携、地球システムモデルにおけるパラメータ値の決定などについて質疑応答

白書更新

- データ同化システムの開発について
 - プラットフォームとして異なる種類の観測データを統合する技術
 - 気象予報、エルニーニョ予測などの精度向上に重要
 - 観測研究との連携について述べる節として加筆
 - JAMSTEC石川氏、AICS三好氏、九江市川氏を中心に
 - メモリ容量の不足をディスク容量で補う手法が多用されるため、メモリサイズとディスク容量・IO速度との間でトレードオフが存在